

(6) 評価規準の作成

具体的な評価規準を設定することで、児童生徒に適切な指導を行うことができます。

奈良市キャリア教育の評価規準例

		関わる力	活用する力	挑戦する力	見通す力
高等 学校		・将来の自分の家庭や、社会に対する役割や責任を果たす。	・将来について収集した情報を基に、自分の考えを交え、メディアを活用しながら適切に発信する。	・将来の目的実現に向けて課題を設定し、解決する。	・将来設計、進路計画を立て、その実現に向けて必要な努力をする。
	小学校・中学校	後期	・様々な職業があることを知り、生き方や進路に関する情報を収集・整理し、将来を考える。	・よりよい生活や学習をめざし、自ら課題を見つけることの大切さに気付きながら、課題の解決に取り組む。	・夢や希望を職業に結びつけ、その実現に向けて必要な努力をする。
		中期	・異年齢集団の活動に参加し、役割と責任を果たす。 ・互いの立場や役割の必要性を理解し、自ら進んで奉仕の心をもって行動する。	・自分の調べたことやまとめたことを様々な方法で発表する。 ・自律的で責任ある行動をする。	・生活や学習上の課題を見つけ、仲間と協力して解決する。 ・身の回りで起こった出来事に対して、前向きに解決しようとする。
前期	・自分の考えを言ったり、人の話を聞いたりする。 ・互いの立場や役割の必要性を理解し、困っている人の役に立つ。	・身近なことに興味・関心を持ち、いろいろな方法で伝えることができる。 ・自律的で責任ある行動をしようとする。	・自分で取り組むことを決め、自分の力でやり切ろうとする。 ・自分の力で、課題を解決しようとする。	・問題解決に向けて、物事を順序立てて考える。 ・自分でやりたい事に進んで取り組んだり、将来の夢や希望をもったりする。	
こども園 幼稚園		・自分の思いを相手に伝え、相手の思いに気付く。 ・身近な人とかかわりを持ち、感謝したり人の役に立つことを喜んだりする。	・気付いたり発見したりしたことをいろいろな方法で伝えようとする。 ・身近な環境にかかわり、遊びや生活の中で自分なりに使ったり取り入れたりする。	・自分で考えて行動する。 ・課題を乗り越えようとする。	・目的に向かってじっくりと取り組もうとする。 ・興味や関心を広げて活動する。